

発行所

株式会社 FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel:06-209-7678

編集発行人: 税理士 三輪 厚二 Fax:06-209-8145

商品回転率で在庫の妥当性を調べよう

Q: 来期の仕入計画を立てようと思っています。そこで、どのくらいの在庫を持っていれば合理的か調べたいのですが、どうすればよいでしょうか。

A: 商品の在庫の妥当性は、「商品回転率」によって見当がつきます。次の方法で計算してみてください。

(1) 商品回転率を出す

商品回転率 = 売上高 ÷ 商品在庫高

(2) 回転日数を出す

商品の回転日数 = 365日 ÷ 商品回転率

【分析】

- (1) 商品回転率8回転は、 $365日 \div 8回 = 46日$ となり、手持ち在庫は平均46日で売り切れることがわかります。こちらの滞留日数でみる方が分かりやすいかもしれません。
- (2) 経営効率の良い会社は適正在庫を維持しますが、効率の悪い会社、販売力の弱い会社は手持ち在庫が増える傾向にあります。
- (3) 商品系列別、時系列別にこの比率を分析すれば、生き筋と死に筋商品、不良在庫が発見できます。足の遅い商品はカットして、売れ筋とその関連商品を増やしましょう。
- (4) 商品の回転は、運転資金の資金繰りに直接影響します。勘にたよった在庫把握ではなく、月単位、週単位で的確に管理しましょう。
- (5) 商品(製品)回転率の平均は次のようになっています。

製造業…63 卸売業…21 小売業…18

